

情報アクセスシステム論

Theory of Information Access Systems

1 学期		火曜日		1・2時限		講義室：7A207	
担当教員	佐藤 哲司	研究室	205	オフィス	火曜	5, 6限	
科目の概要	インターネット上に集約されつつある多様な情報に自在にアクセスするための課題と技術的な解決方法について、システム例の紹介などを交えながら概説・討論する。一部はゼミ形式で関連論文や最新の研究成果を紹介し、内容説明と議論を行う。						
授業予定	<ul style="list-style-type: none"> ● ガイダンス, 科目のスコープ確認 ● インターネット情報資源へのアクセス: 課題と実践例 ● 人と人のコミュニケーションと情報通信技術: 情報推薦と互惠 ● UML (Unified Modeling Language) に基づくシステム設計 <ul style="list-style-type: none"> (1) ユースケース分析と要求仕様の抽出 (2) クラス図 (3) シーケンス図 ● 先進的な情報アクセスシステムの事例研究 (1) ● 先進的な情報アクセスシステムの事例研究 (2) 						
達成目標	<p>ウキペディアなどに代表されるUGM(User Generated Media)が社会的に認知されるに伴って、情報アクセスシステムの対象も断片化され相互に情報ネットワーク化されたコンテンツに拡大してきている。本科目では、大規模・複雑化する情報アクセスシステムの設計指針、基本的な構成要素、システムを取り巻く環境条件の変化などについて理解することが目標である。</p> <p>ハイパーリンク構造を有するインターネット情報資源への効果的なアクセス法、画像や映像、楽曲などマルチメディア情報へのアクセス拡張、利用者からのフィードバック情報に基づくアクセスの高度化手法など、情報アクセスシステムの基礎から応用について先進的な取り組み事例を紹介し、残された課題と今後の方向性について議論を深める。相手から情報を引き出すための質問の仕方や議論の深め方など、お客様システムを構築する際に必要となるスキルを体系的に身につけることもできる。</p>						
評価の方法	講義での討論への参加状況と課題レポートによる総合評価						
教科書または参考書	マーチン・ファウラー 著, 羽生田 栄一 翻訳, 「UML モデリングのエッセンス第3版」:翔泳社(2005/6/16) ISBN-10:4798107956 を使用。それ以外は適宜プリントを使用, および, 資料なしでの受講スタイルを取る。						
テレビ会議システムの利用	無						
その他	本科目のためのウェブサイト http://www.slis.tsukuba.ac.jp/~satoh/index-j.html から迎れる位置に用意します。活用方法について第1回に説明します。						